

平成 28 年 9 月 15 日

一般社団法人日本金型工業会西部支部
支部長 山中 雅仁

10 月勉強会（西部支部・本部技術委員会共同開催）

IOT と金型センサー

拝啓 時下益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。
また、日頃より工業会事業にご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。
さて、この度以下の内容にて 10 月の勉強会を開催致しますので、是非、ご参加頂
けますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

- 日時：平成 28 年 10 月 24 日（月）午後 3 時 00 分～5 時 00 分
懇親会：午後 5 時 20 分～（予定）
- 勉強会場所：大阪科学技術センタービル 6F 605 号会議室
大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4

駐車場が御座いませんので、公共交通機関をご利用下さいます様お願い申し上げます。

- 懇親会場 後日ご連絡申し上げます（本町駅周辺）
- 参加費 勉強会 無料
懇親会 5,000 円（当日徴収させていただきます）

□内容

① 「金型内センサを用いた射出成形プロセスの IoT 化」

講師 氏名：野原 康弘様
所属：双葉電子工業株式会社 精機営業センター
技術開発部 係長

【講演概要】

射出成形用金型内計測システム「モールドマーシャリングシステム」は、厳しい品質レベルを必要とされる部品、外観を重視する意匠部品、検査コストの削減が課題の成形現場等、幅広く様々な目的に採用されています。

これからの射出成形プロセスにおいては、金型内の情報をはじめ、成形機や製品など全ての情報を IoT によって連携させ、活用して行くことが求められております。本報告では、量産監視を目的とした金型内センサの活用事例並びに、金型内センサを用いた射出成形プロセスの IoT 化について、システム事例を交えてご紹介致します。

② 「ボルト型ピエゾセンサーを用いた工程モニタリング」

講師 氏名：金 秀英様

所属：株式会社ヤマナカコーキン 新商品開発室 室長

【講演概要】

本講演では、ドイツから提案された「Industrie4.0」を中心に次世代のものづくり産業に向けた新しい取り組みを支える要素技術の一つとして、ドイツのDarmstadt 工科大学で開発され、ConSenses 社がライセンス製造する締結機能を兼ねたボルト型センサー「ピエゾボルト (PiezoBolt)」を用いたプロセスモニタリングシステムについて紹介する。

また、そのシステムを様々な製造工程に適用した事例を紹介するとともに、製品と設備の異常検知による品質管理やメンテナンスなど、新たな活用の可能性について述べる。

■参加申込み方法

別紙参加申込書を10月12日までにFAXでお送り下さい

FAX 06-6479-1479 (一社) 日本金型工業会西部支部 宛て

■問い合わせ先・申込先

一般社団法人日本金型工業会西部支部 辻

電話 06-6479-1477

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター305号室

以上



ご返信 FAX 06-6479-1479

10月西部支部勉強会 参加申込書

会社名		
お役職/お名前	-----	() 勉強会 (無料) () 懇親会 (5,000 円)
お役職/お名前	-----	() 勉強会 (無料) () 懇親会 (5,000 円)
E-mail		
電話番号		
FAX番号		

会場ご案内図

鉄御堂筋線「本町駅」2番出口より西へ徒歩7分

地下鉄四つ橋線「本町駅」28番出口より北へ徒歩3分



「大阪科学技術館」の看板が目印です。そちらにお入り下さい。駐車場が御座いませんので、公共交通機関をご利用下さいます様お願い申し上げます。